第６回ＭＤＩＣ検定試験問題
臨　床　医　学

一般社団法人日本医療機器学会
2014 年 1 月 12 日
12 時 00 分ー12 時 50 分

受験番号							氏　名	
生年月日（西暦下 2 桁の 6 桁表記）								

注意事項

１．**問題用紙は指示があるまで開かないでください。**

２.問題用紙および解答用紙の所定の箇所に受験番号と氏名と生年月日（西暦下 2 桁と月日を 6 桁で記入する。例えば, 1982 年 4 月 13 日の場合, 820413 と記載）を記載します。解答用紙の受験番号と生年月日は横書きで記入し，下の同じ番号をマークしてください。

３．問題用紙はすべて回収しますので，持ち帰ることはできません。問題用紙の回収がない場合，不合格となります。

４．問題用紙に落丁または不鮮明な箇所がある場合は，手をあげて監督者に合図してください。試験問題の内容についての質問は一切受け付けません。

５．設問は 40 題で，単純 5 肢択一のマークシート方式です。

６．各問題では，設問に対して適切な解答を解答群の中から選択し，問題文中に書かれた解答記入欄の番号に従って解答用紙の解答記入欄を選び，選択した項目の番号をマークしてください。

７．途中退室は認めません。

８．試験中，体調が悪くなった場合やトイレに行きたくなった場合は，手をあげて監督者の指示に従ってください。試験時間内であれば試験場に戻ることができますが試験時間の延長はありません。

９．不正行為と確認された場合には，退室を命じます。不正行為をした場合には，全受験科目が不合格となります。

【問題１】　体重 60 キログラムの成人の体液量はおよそいくらか。

１）15 リットル

２）25 リットル

３）35 リットル

４）45 リットル

５）55 リットル

【問題２】　膵臓で分泌するのはどれか。

１）レニン

２）アンドロゲン

３）エストロゲン

４）パラソルモン

５）インスリン

【問題３】　小児に多い疾患はどれか。

１）胃がん

２）心筋梗塞

３）神経芽腫

４）２型糖尿病

５）肺がん

【問題４】　アナフィラキシー型アレルギーに関係する免疫グロブリンはどれか。

１）IgE

２）IgA

３）IgM

４）IgD

５）IgG

【問題５】　基本的検査に含まれるのはどれか。

１）白血球数（WBC）

２）不飽和鉄結合能（UIBC）

３）癌胎児性抗原（CEA）

４）前立腺特異抗原（PSA）

５）クレアチンキナーゼ（CK）

【問題６】　理学的診断法に**含まれない**のはどれか。

１）視　診

２）触　診

３）問　診

４）聴　診

５）打　診

【問題７】　血漿に含まれて血清に**含まれない**のはどれか。

１）赤血球

２）電解質

３）ブドウ糖

４）コレステロール

５）凝固タンパク質

【問題８】　超音波プローブの種類と検査対象臓器との組合せで正しいのはどれか。

１）経食道用プローブ　――――――　心　臓

２）経腟プローブ　――――――――　脾　臓

３）リニアプローブ　――――――――　肝　臓

４）コンベックスプローブ　――――　乳　腺

５）セクタプローブ　――――――――　腎　臓

【問題９】　放射線の種類とその組成について正しい組合せはどれか。

１）α線　――――――　電磁波

２）β線　――――――　電　子

３）γ線　――――――　陽　子

４）X線　――――――　陽　子

５）中性子線　――――　電　子

【問題 10】　放射線被ばく線量が最も多い画像診断法はどれか。

１）胸部単純撮影

２）マンモグラフィ（乳房撮影）

３）心臓冠動脈 CT

４）腹部単純撮影

５）頭部単純撮影

【問題 11】　胸部 X 線写真について正しいのはどれか。

１）気管は白く写る。

２）鎖骨は黒く写る。

３）肺は白く写る。

４）心臓は黒く写る。

５）脊椎は白く写る。

【問題 12】　バリウム製剤を用いて診断する疾患はどれか。

１）アカラシア

２）胆石症

３）椎間板ヘルニア

４）尿管閉塞

５）大動脈瘤

【問題 13】　CT と比較した場合の MRI の利点はどれか。

1）検査時間が短い。

2）X 線被ばくがない。

3）石灰化の検出能が高い。

4）動きによるアーチファクトが少ない。

5）撮像不可能な被験者が少ない。

【問題 14】　正しい組合せはどれか。

1）上部消化管内視鏡検査 ―――――― 上行結腸がん

2）下部消化管内視鏡検査 ―――――― 下行結腸がん

3）カプセル内視鏡検査 ―――――― 肛門腫瘍

4）小腸内視鏡検査 ―――――― 虫垂腫瘍

5）超音波内視鏡検査 ―――――― 胃潰瘍

【問題 15】　病理解剖について**誤り**はどれか。

1）病気の発生過程を理解する。

2）治療法の効果を判定する。

3）人口動態統計に正確な情報を提供する。

4）CT 検査を用いる。

5）臨床診断の正確さを判定する。

【問題 16】　放射線治療に用いる線量の単位はどれか。

1）Gy（グレイ）

2）Sv（シーベルト）

3）M（マグニチュード）

4）Pa（パスカル）

5）Bq（ベクレル）

【問題 17】　IVR (Intervention Radiology) について正しいのはどれか。

1）動脈硬化症に対して TAE（動脈塞栓術）を行う。

2）静脈瘤の治療にバルーンカテーテルを用いる。

3）脳動脈瘤にカテーテルによる電気焼灼法を行う。

4）PTCA（経皮的冠動脈形成術）にステントを用いる。

5）大動脈瘤の治療にバルーンカテーテルを用いる。

【問題 18】　内視鏡的粘膜切除術の一般的な略称はどれか。

1）EVL

2）EMR

3）EST

4）EIS

5）ERBD

【問題 19】　医薬品について正しいのはどれか。

１）臨床試験第Ⅱ相では人体への副作用を検証する。

２）MR は医薬情報提供の国家資格である。

３）イエローペーパーは医薬品添付文書である。

４）患者は医薬品の適正使用に責任はない。

５）麻薬は鍵のかかる場所に保管しなければならない。

【問題 20】　全身麻酔の導入・維持に**用いない**薬剤はどれか。

１）睡眠導入薬

２）吸入麻酔薬

３）静脈麻酔薬

４）麻薬系鎮痛薬

５）筋弛緩薬

【問題 21】　麻酔中のモニタリングで正しい組合せはどれか。

１）酸素飽和度　――――――　パルスオキシメータ

２）換　気　――――――――　脳　波

３）循　環　――――――――　カプノメータ

４）体　温　――――――――　筋電図

５）筋弛緩　――――――――　心電図

【問題 22】　鏡視下手術が開腹手術より優れているのはどれか。

1）SUDs の使用が少ない。

2）複数医師が視野を共有できる。

3）術野の洗浄がしやすい。

4）手術室が狭くてもできる。

5）視野外のトラブルに気付きやすい。

【問題 23】　手術創の清浄度分類で正しいのはどれか。

1）脳腫瘍　――――――　Class Ⅰ

2）頸椎症　――――――　Class Ⅱ

3）大腸穿孔　――――――　Class Ⅱ

4）乳がん　――――――　Class Ⅲ

5）胃がん　――――――　Class Ⅳ

【問題 24】　ナビゲーション手術を行うのはどれか。

1）角膜移植術

2）前腕骨骨折接合術

3）冠動脈バイパス術

4）人工関節置換術

5）甲状腺右葉切除術

【問題 25】　「目的から見た手術の分類」で正しい組合せはどれか。

1）角膜移植 ―――――― 再建手術

2）腹部大脈瘤破裂 ――― 切除手術

3）食道がん ―――――― 矯正手術

4）骨肉腫 ――――――― 修復手術

5）生体肝移植 ――――― 修復手術

【問題 26】　生体材料（インプラント）で**ない**のはどれか。

1）人工内耳

2）髄内釘

3）脳動脈瘤クリップ

4）冠動脈拡張用ステント

5）合成吸収糸

【問題 27】　正しい組合せはどれか。

1）PT ――――――― 作業療法士

2）OT ――――――― 理学療法士

3）ST ――――――― 聴覚言語療法士

4）ADL ――――――― ケアマネージャ

5）MSW ――――――― 訪問看護師

【問題 28】　自己免疫性疾患はどれか。

１）腎硬化症

２）２型糖尿病

３）重症筋無力症

４）乳房外パジェット病

５）進行性筋ジストロフィ

【問題 29】　小児期までに治療される疾患はどれか。

１）停留睾丸

２）間質性肺炎

３）高尿酸血症

４）多発性硬化症

５）筋委縮性側索硬化症

【問題 30】　直腸生検が行われる疾患はどれか。

１）メニエール病

２）ネフローゼ症候群

３）アルツハイマー病

４）ヒルシュスプルング病

５）クロイツフェルト・ヤコブ病

【問題 31】　全身性エリテマトーデスについて正しいのはどれか。

１）男性に多い。

２）筋生検を行う。

３）筋電図検査を行う。

４）蝶形紅斑が特徴である。

５）女性では悪性腫瘍の合併が多い。

【問題 32】　医療関連感染対策上、重要な微生物で正しいのはどれか。

１）バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）の生息部位は腸管内である。

２）多剤耐性緑膿菌（MDRP）は環境からは分離されない。

３）インフルエンザウイルスはアルコール抵抗性である。

４）クロイツフェルト・ヤコブ病プリオンは熱に弱い。

５）C 型肝炎ウイルスにはワクチンの接種を行う。

【問題 33】　多剤耐性菌について正しいのはどれか。

１）メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）は健常者から検出されない。

２）バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）は空気感染する。

３）多剤耐性緑膿菌（MDRP）は乾燥環境を好む。

４）多剤耐性アシネトバクター属菌は環境常在菌である。

５）多剤耐性結核菌は治療薬剤がない。

【問題 34】　スポルディングの分類でクリティカルに属する器材の処置で正しいのはどれか。

１）洗剤による洗浄

２）過酢酸による消毒

３）塩化ベンザルコニウムによる消毒

４）次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

５）高圧蒸気滅菌

【問題 35】　滅菌の無菌性保証水準（SAL : Sterility Assurance Level）はどれか。

１）10^{-2}

２）10^{-3}

３）10^{-4}

４）10^{-5}

５）10^{-6}

【問題 36】　病院で**行われない**滅菌方法はどれか。

１）高圧蒸気滅菌

２）放射線滅菌

３）過酸化水素ガス滅菌

４）エチレンオキサイドガス滅菌

５）過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌

【問題 37】　高圧蒸気滅菌で正しいのはどれか。

１）プラスチック器材の滅菌に適する。

２）ブドウ球菌は殺滅できない。

３）過酸化水素を用いる。

４）低温で滅菌できる。

５）残留毒性がない。

【問題 38】　エチレンオキサイドガス(EOG)滅菌について正しいのはどれか。

１）金属を腐食させる。

２）浸透性が高い。

３）短時間で滅菌できる。

４）毒性はない。

５）可燃性はない。

【問題 39】　滅菌工程の管理で**ない**のはどれか。

１）機械的制御の監視と記録

２）化学的インジケータ（CI）

３）色素染色法（アミドブラック 10B 法）

４）ボウィー・ディックテスト（Bowie & Dick test）

５）生物学的インジケータ（BI）

【問題 40】　正しい組合せはどれか。

1）滅菌保証のガイドライン　――　厚生労働省が策定

2）化学的インジケータ　――――　培養が必要

3）生物学的インジケータ　―――　ウイルスを使用

4）物理的インジケータ　――――　化学物質を印刷したカード

5）滅菌保証　――――――――――　医療器材の無菌性を確認